

平成28年第1回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成28年1月12日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成28年1月12日	開会 1時30分 閉会 2時42分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	教 育 長 山本 修司 教育長職務 代理者 鮎川志津子	委 員 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀 委 員 岡村理栄子	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 川合 修 生涯学習部長 西田 剛 庶務課長 河田 京子 学務課長 鈴木 剛 指導室長 小林 正隆 指導室長補佐 高橋 良友 指導主事 平田 勇治 指導主事 丸山 智史	生涯学習課長 石原 弘一 図書館長 上石 弘美 公民館長 前島 賢 庶務係長 中島 良浩	
調 製	中島 良浩		
傍聴者人数	1名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議 案 第 1 号	小金井市教育委員会の教育目標、基本方針及び平成 2 8 年度教育施策について
第 3	協 議 第 1 号	第 2 次明日の小金井教育プラン（案）について
第 4	報 告 事 項	1 東京学芸大学共同研究進捗状況について 2 その他 3 今後の日程について
第 5	代 処 第 1 号	職員の分限処分に関する代理処理について

山本教育長 皆さん、こんにちは。ただいまから、平成28年第1回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、鮎川委員と岡村委員にお願いする。よろしくお願いします。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

山本教育長 それでは、恒例、最初に1人一言ずつご挨拶をいただきたいと思う。

まず、私から始めさせていただく。何と言っても、昨日の成人の日記念行事、職員の皆様、大変お疲れさまであった。ありがとう。見かけが派手な若者が10人ぐらいいて、一時どうなるかと思ったが、2つ感想を持った。

1つは、職員の方が、だめなものはだめである、きちっとしてほしいという彼らに対する指導、注意を毅然として行っていた。それに対して、彼らが意外に素直に職員の指導に従ってくれたので、市長さんや議長さんの挨拶のときは非常に真剣に耳を傾けていた空気ができたということで、よかったと思う。

もう一つの感想は、1人舞台上が上がってきた者がいたときに、西田部長の動きが非常にすばらしかったのが目に焼きついている。ラグビーの日本チームのように、舞台の袖からさっと出てきて、舞台に駆け上がった若者をつかまえて下におろした。そして、下からそれを抱えて事なきを得たという、その反応の速さと動きのすばらしさに感心した。西田部長、これからもよろしくお願いします。

それでは、鮎川委員、お願いします。

鮎川教育長 新年、おめでとう。昨日の成人の日の記念行事も無事に終了し、職務代理者 多くの成人の方々のすばらしい姿を見ることができて、とてもよかった。お正月から、市内で生涯学習をはじめとして幾つかの行事が行われ、小金井らしさ、そして、日本の伝統文化を感じるができる日々だったと思う。

今週末に野川駅伝大会が行われる。昨年のもから、おそらく駅伝に向けての練習と思われる小学生、中学生、大人の方々が走ってい

らして、実際にたすきを渡す練習をされている方も拝見している。  
今週末の野川駅伝大会もきっと成功に終わるのであろう期待を持っている。

山本教育長            それでは、福元委員、お願いします。

福元委員            成人式を見ていての感想を申し上げる。平成の初めのころと比較して、大きな違いがあったなと感じた。1つは派手に騒いで、目立とうとする者は両方ともいたわけだが、今年はその数が非常に少なかったということである。

もう1つは、目立ちたい者がさかんに目立とうと騒ぐが、全体がそれにつられていかなかったことである。テレビなどで他市の成人式の様子を見ていても、誰かが騒ぐと、一緒になって、わーっとなって騒ぐが、小金井市の場合は全体がそれに動かされなかった。これは大きな違いだと思う。うれしいことである。

山本教育長            それでは、渡邊委員、お願いします。

渡邊委員            去年の12月19日、東中の学校運営連絡会に参加して、男子の生徒の投げの力が弱っているということで、別の学校で話を聞いたときに、ゴムのチューブというのか、それを投げると、投げる力が向上するという話を聞いたので、その話を紹介した。

それから、もう一つは、学区の見直しを大分前から行っているが、なかなか進まないという話も聞いてきた。あと、年が明けて1月6日が小金井青年会議所の新年賀詞交換会、7日が市民の集い、8日が武蔵野法人会、小金井、武蔵野、三鷹、3市の合同だったが、そこに参加した。

それから、昨日の成人式。地方だと10日に成人式を行ったところがあったようで、よその市では市長のマイクを取り上げて、1人の成人が演説したようなシーンがあり、おそらく昨日、壇上に上がろうとした者も、そういったイメージで上がってきたんじゃないかという気がした。ただ、全体を見ると非常に真面目に話を聞いていたので、よろしかったと思う。

山本教育長            岡村委員、お願いします。

岡村委員 私も、成人式、テレビを見ていたからどうなるかなとドキドキした。しかし、本当に成人の誓いを述べた人もすごくいい内容だったし、福元先生が言うように、騒ぐ人がいても、みんな動揺しなくて、さすが小金井だなと思って安心した。

私は、医師会の会議の中で、各委員会の報告があるが、前年度からその中に教育委員会報告というのをに入れていただき、必ず教育委員会で話題になったこととか医師会の皆さんの要望を聞くことにしている。本日、この後で組体操の話があるそうだが、そのことについても、医師会の皆さん、すごく興味を持っていただいている。

また、整形外科の先生方がやっぱり学校医になりたいという要望が強いので、そのあたりもみんなで検討していきたいし、皮膚科もなりたいと考えている、検討していくつもりで今年も頑張るので、よろしく願います。

山本教育長 ありがとうございます。事務局の方も参考にさせていただければと思う。

それでは、議事に入る。

日程第2、議案第1号、小金井市教育委員会の教育目標、基本方針及び平成28年度教育施策についてを議題とする。提案理由を説明願う。

川合学校 提案理由について説明する。

教育部長 小金井市教育委員会の教育目標、基本方針及び平成28年度教育施策を定めるため本案を提出するものである。細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

山本教育長 庶務課長。

河田庶務課長 小金井市教育委員会の教育目標については、平成20年1月24日に教育委員会決定をされ、また、基本方針1から3については平成20年度から教育目標のもとで基本方針及び基本施策を定めており、これまで教育目標の達成のため基本方針の具現化に努めてきたところだが、現在まで改正の必要が生じていないことから変更は行っていない。

今回示す平成28年度教育施策1から3については、「明日の小金井教育プラン」に基づき、平成28年度に小金井市教育委員会が重点的に取り組む施策として示すものだが、現在、「第2次 明日の小金井教育プラン」を策定中であることから、従来の「明日の小金井教育プラン」の体系に沿い教育施策を掲げている。教育施策の内容については、「第2次 明日の小金井教育プラン（案）」に掲げる予定の重要施策を含めた内容としている。

次に、平成28年度教育施策の内容について、昨年度と変わった点について説明する。私からは、1、小金井らしさの醸成、2、知育、徳育、体育の推進、3、教育環境の整備について説明する。

それでは、議案第1号資料の新旧対照表をごらんいただきたい。まず、小金井らしさの醸成の（1）「特色ある教育」の①については、文言の整理を行ったものである。

②については、昨今の教育課題の中で極めて重要である生命に対する畏敬の念の育成を新たに項目立てしたものである。以下、③から⑧については番号を繰り下げている。

④については文言の整理を行ったものである。

⑤については、学校が安全教育プログラムを活用することで、安全指導日やセーフティー教室の一層の充実を図るために文言を追加したものである。

次、（2）「人権教育」の①については文言の整理を行ったものである。②についても文言の整理を行ったものである。

③については、学校いじめ防止基本方針の策定に伴い文言を追加したものである。④については文言整理をしたものである。

（3）「社会貢献活動」の①については、児童・生徒の社会貢献活動やボランティア活動等の一層の充実を図るため文言を整理したものである。

（4）「伝統・文化理解教育」の②については、現学習指導要領でも重要視されている内容であり、「第2次 明日の小金井教育プラン」にも掲げる予定である。ふるさと教育の内容も追加した。これに伴い文言整理をしたものである。

（6）「福祉教育」の福祉のまちづくりのビジョンから、福祉教育の重要性を鑑み、今後、「第2次 明日の小金井教育プラン」にも掲げる予定である福祉教育の項目を追加したものである。これに伴い、（7）「家庭教育」の番号を繰り下げている。

2 「知育、徳育、体育の推進」の(1)「わかる、できる、生かす授業」の①については、個に応じた指導や体験活動を充実させ、児童・生徒の主体的な学習態度の育成を図るために文言を整理したものである。

②から④については文言の整理をしたものである。

(3)「情報教育」の①については文言を整理したものである。

②については、実態に合わせて文言を整理したものである。

(4)「理科教育」については、地域の大学や研究機関等の連携と小学校理科支援員の派遣と項目を2つに分け、文言を整理したものである。

(6)「体力の向上」の①については、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、オリンピック・パラリンピック教育推進校等の教育活動を進めているため、文言の訂正を行ったものである。

(7)「特別支援教育」の①から④について、実態に合わせた上での文言の訂正である。

⑤については、障害者差別解消法の施行に伴う文言の追加となる。

3 「教育環境の整備」の(1)「新しい学校評価」の②から④については文言を整理したものである。

(2)「情報環境」の①については文言を訂正したものである。

(3)「教育相談・適応指導」の①、②については、不登校等は喫緊の教育課題であり、小金井市として教育相談の一層の充実を図るために文言の訂正、追加をしたものである。これに伴い、③、④については番号を繰り下げている。また、現状に合わせて文言整理を行ったものである。

石原生涯  
学習課長

9ページの4番、「生涯学習と文化、スポーツの振興」以降について、新旧対照表に基づいてご説明させていただく。

(1)「生涯学習の推進」について、現在、第3次生涯学習推進計画を社会教育委員の会議において策定の途上であり、本年度中に策定を終える予定であるので、「策定状況に合わせ、第3次生涯学習推進計画に沿って施策の推進に努める」という形に改めさせていただいている。

それから、10ページから11ページにかけての(3)「スポーツ・レクリエーション活動の推進」の①である。こちらについては、本年度行っているスポーツ意識調査に基づき、平成28年度につい

ては、「(仮称) 小金井市スポーツ推進計画」を策定する予定として  
いるので、「(仮称) 小金井市スポーツ推進計画」をスポーツ関係団  
体と協働して策定するという形に改めている。

続いて、11ページから12ページにかけての(5)「公民館の  
充実」についてである。⑦として追加している、今後、公民館が策  
定する予定である中長期ビジョン等を策定することについて、「こ  
れまでの公民館の果たしてきた役割を踏まえ、時代にふさわしい公  
民館のあり方について市民を交えて検討する」という項目を追加し  
ている。

(6)として、「図書館の充実」である。こちらの③、「子供の読  
書活動の推進」について、現在策定している第3次小金井市子ども  
読書推進計画が間もなく策定されるので、「計画に沿って施策の推  
進に努める」と改めている。

⑤として新たな項目を追加しているが、こちらについては、来年  
度から検討の予定である市民を交えての図書館のあり方について  
検討を開始することについて項目として追加させていただいてい  
るものである。

説明は以上である。

山本教育長

事務局の説明が終わった。

それでは、今年度の新しい施策についての検討なので、ご自由  
にご意見、ご質問等いただきたいと思う。いかがか。

じゃ、鮎川委員。

鮎川教育長  
職務代理人

幾つかあるが、1つずつのほうがいいか。

山本教育長

いや、全部言ってもらえるか。幾つぐらいか。

鮎川教育長  
職務代理人

5点ある。

山本教育長

5つ。じゃ、全部言ってもらって、そして、担当する課長から説  
明してもらおう。

鮎川教育長 よろしいか。  
職務代理者

山本教育長 お願いする。

鮎川教育長 まず1点目は、教育目標や基本方針にもかかわってくるところ  
職務代理者 だが、意見を申し上げてよいか。教育施策の、この新旧対照表で言  
えば、1ページの1番、「小金井らしさの醸成」(1)①の中で、「家  
庭、学校、地域」という文言を、「学校、家庭、地域」と変えてい  
ただいた。基本方針では、4番の「生涯学習」のところで、「学校、  
家庭、地域」という言葉の順番になっているので、これとそろって  
よいと思うが、教育目標では、「家庭、学校及び地域」となってい  
る。統一性がないと思った。教育目標と基本方針は、変えていた  
だきたいというわけではないが、今回、教育施策のほうでこのよう  
に変更されているので、今後、教育目標や基本方針についてご検討  
される際には、ここもあわせてお考えいただけるとよいと思った。

2点目は新旧対照表1ページの、先ほどの①に続く②の「自他の  
生命を尊重する態度」、項目立てていただき、とてもよかったと思  
う。ありがとう。

続いて、3点目、質問になる。新旧対照表3ページ目の(3)「社  
会貢献活動」の①、この中から「自然体験学習等の体験活動」とい  
う言葉が今回省かれている。何か特別の意味があるのか教えていた  
だきたい。

続いて、4点目になる。細かな言葉についての意見なので聞き流  
していただいても構わない。新旧対照表5ページ、8ページにもか  
かわってくるが、(3)「情報教育」の①、「ICT」の言葉が、「情  
報通信機器」と変わっている。以下、そのようなところが何点かあ  
る。①に関しては使い方なので、「情報通信機器」が自然とは思  
うが、②「ICT活用」については、「情報通信機器の活用」に変  
えてしまうと、機器のみの活用という、意味が狭くなってしま  
う心配を感じた。ICTは、本来、技術を指している。機器の活用  
能力のみではなくて、機器の活用も含めた、情報通信の技術の  
活用が推進されるべきなので、「機器」とすることがよいのか少  
し疑問に感じている。

新旧対照表8ページの(2)「情報環境」の①「ICTを活用し

た」も、「情報通信機器を活用した」という言葉に変えてしまってよいのかという疑問が少し残っている。この後の協議事項にもある「明日の小金井教育プラン」では、「情報教育の充実」の11ページで、「ICT機器」と「ICT」の使い分けがきちんとされているので、素晴らしいと思った。施策の言葉を全部一律に変えてしまってよいのかと少し悩んだ。変更されたご意義等あったら、教えていただきたいと思う。

5点目は、感想になる。新旧対照表13ページの図書館の⑤、今回、項目立てをしていただいた。図書館に関して、今までも市民の方のご意見もあったと思う。検討を始めていただくことを挙げていただき、項目を立てていただいたことで、これから進んでいくことが市民の方にわかりやすくてよかったと思った。

長くなったが、以上である。

山本教育長            ありがとうございます。大変細かく読んでいただき、ご質問、ご意見を出していただいた。今、5点出たが、2番と5番については感想ということで、よろしいか。

鮎川教育長            はい。  
職務代理者

山本教育長            それでは、1番と3番と4番について、説明をお願いします。まず、1番から。

鮎川教育長            1番も、今後、覚えておいていただいたら程度でいい。  
職務代理者

山本教育長            わかった。たしか2年前にも、伊藤委員長のときに、整合性はど  
うなんだという意見が出されたのを覚えているので、これは検討さ  
せていただく。

鮎川教育長            よろしくをお願いします。  
職務代理者

山本教育長            それでは、「自然体験」という言葉を取った理由について説明して

ほしい。指導室長。

小林指導室長 (3)の項目については、「社会貢献活動」と書いてある。新旧の旧のほうで、「自然体験学習等の体験活動」という「自然体験学習」という文言があるが、「社会貢献活動」ということに限れば、社会貢献活動と言え、社会貢献活動とボランティア活動に着眼点を置いて書いたほうが良いという検討のもと、このような文言になった。ただし、「自然体験学習」というのは非常に重要なことなので、そのことについては進めていくわけだが、このことの文言についてはこちらで検討させていただきたいと考えている。

山本教育長 今の説明でよろしいか。

鮎川教育長 わかった。自然体験学習は社会貢献ではないという理由であるね。  
職務代理者

小林指導室長 全く関係ないということではないが。

鮎川教育長 よくわかった。  
職務代理者

山本教育長 ただ、体験活動の重要性については変わらなくということか。

小林指導室長 変わらないということである。

山本教育長 どこか言葉では入っているのか。

小林指導室長 もう少し明確に入れたいと思う。

山本教育長 どの辺にか。

小林指導室長 4ページの(5)「体験活動」というのがあるが、「自然体験活動」とか、もう一度活動を見直して、この部分は検討させていただきたいと考えている。

山本教育長            こちらのほうに、自然体験活動を入れるように検討するという  
ことでよろしいか。

鮎川教育長            わかった。  
職務代理者

山本教育長            それでは、4番、これはどうか。言葉の概念の問題であるが、指  
導室長お願いする。

小林指導室長        I C T、今ご指摘いただいたとおりに指導室も考えているので、  
ご指摘を踏まえ文言整理をもう一度させていただきたいと思う。

鮎川教育長            細かな言葉のあやみたいなところで申しわけないが。  
職務代理者

小林指導室長        でも、私どももそういうふう考えたので、もう一度検討したい。

山本教育長            要するに、I C TのTはテクノロジーだから、機器ではなく、技  
術という概念に近いわけである。じゃ、その辺も整理するというこ  
とで。

鮎川教育長            よろしくお願いする。  
職務代理者

山本教育長            それでは、ほかにご質問、ご意見等ないか。何でもご自由にどう  
ぞ。

山本教育長            私から1つだが、平成28年度の改訂には、新たな5年計画のほ  
うがちょっと間に合わなかったという感じがする。

今回は新しい計画の文言を加味して入れているので結構だと思  
うが、5年後の話である。5年後には、この辺はもうちょっと早目  
に改訂を進めて、教育施策にきちんと盛り込めるようにしたほうが  
いいかと思った。現在、学校教育も生涯学習も計画策定中であるが、  
事務局として5年後に対応するように覚えておいてほしい。早目早  
目に進めて、きちっと28年度に間に合えたほうが、整合性がとれ

てよかったのかなという印象を持っている。ただ、内容的には、結構だと思う。

そのほか、あるか。どうぞ、岡村委員。

岡村委員           基本方針の生涯学習のところもすばらしいなと思っています。小金井市全体の大人も勉強すれば、それこそ、学校、地域、家庭の力が全て増えていくという考えでよい。生涯学習を頑張ろうという小金井の意識がすばらしいと思って感動している。これをずっと続けていただきたいと思う。

山本教育長           基本方針の4。

岡村委員           はい。

山本教育長           そのほか、いかがか。感想、質問、ご意見、何でも結構である。福元委員、いかがか。

福元委員           先ほど、鮎川委員が言われた、「特色ある教育」の②の「生命尊重」というこの部分を、今までも言っただけだったが、あえてここに文章として入れた意味が非常に大きいと思う。大事にしていきたいというのが1つある。

もう1つは、社会教育のほうで、「これから市民の声を聞きながら検討していく」という文言があったが、今、小金井市の場合は、市民を、生涯学習を含めて、いろんなところでいろんな声を出しながら、ともに小金井市をよくしようというような動きが非常に盛んである。市民と一緒に考えていくということをここに挙げられたのもよかったなと感じている。

以上である。

山本教育長           渡邊委員、いかがか。

渡邊委員           私、9ページの3-1-4、「全校で地域、外部の人材等を活用した」というところの、地域というのは地元ということでわかるが、外部が学芸大とか亜細亜大とか、そういうことを指しているのかなと思ったが、その辺を「外部」って大ざっぱに書かないで、もうち

よっと具体的にわかりやすく書かれたほうがいいのかなと思った。  
あと、人材も入るのか。

山本教育長 外部というのが、例えば、学校の外部だったら地域も含まれるわけだから、この2つの言葉の概念の意味がはっきりしないところがあるという話か。

渡邊委員 はい。

小林指導室長 今、渡邊委員がおっしゃったとおり、外部は大学が中心になると思うが、その、どういう意味を指すのかというのを、もう一度わかりやすく書いていきたいということを検討していきたいと思う。

渡邊委員 よろしく。

山本教育長 ほかにあるか。

それでは、以上で一旦質疑は終了させていただき、これをお認めいただいた後で、幾つかの文言等については検討するということで進めたいと思うが、よろしいか。

それでは、以上で質疑を終了する。

お諮りする。議案第1号、小金井市教育委員会の教育目標、基本方針及び平成28年度教育施策については可決することとし、委員からの意見に基づく修正については、私、教育長にご一任いただきたいと思うが、ご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

山本教育長 異議なしと認める。本案は可決することとし、細部の修正については、私、教育長にご一任いただくことに決定した。

次に、日程第3、協議第1号、「第2次 明日の小金井教育プラン(案)」についてを議題とする。提案理由を説明願う。

川合学校 提案理由について説明する。

教育部長 小金井市教育プランの検討会議での議論を踏まえ、「第2次 明日の小金井教育プラン(案)」がまとまったので、小金井市市民参加

条例第15条の規定により、市民の意見募集、パブリックコメントを実施することについて協議を求めるものである。

細部については担当から説明するので、よろしくご協議の上、ご承認賜るよう、お願い申し上げます。

山本教育長 庶務課長。

河田庶務課長 前回の教育委員会で、次期「明日の小金井教育プラン」の体系と重点施策の枠組みについてご協議いただいた。その後、内部での検討と12月22日の検討会議を経て、「第2次 明日の小金井教育プラン（案）」を策定した。

「第2次 明日の小金井教育プラン（案）」の構成については、第1章でプランの基本的な考え方、第2章でプランの計画構成、第3章で重点施策の推進をうたっている。

6ページのプラン体系図をごらんいただきたい。前回の教育委員会でご協議いただいたご意見の中で検討事項とされていたことについてご説明する。

1点目は、たばこ、ドラッグなど薬物乱用防止について、教育プランの健康教育に入れてほしいという岡村委員からのご意見についてである。この指導内容については、既に学習指導要領の中に位置づけられ、セーフティー教室や保健体育、総合的学習の時間で指導が行われている。各校で長年培われてきた教育内容であるので、改めて、今後5年間の教育プランには載せていない。しかしながら、このことは極めて重要な教育課題と考えるので、教育委員会として引き続き一層の推進を図ってまいらる。

2点目は、オリンピック・パラリンピック教育の推進についてである。オリンピック・パラリンピック教育については、検討委員会で議論したところである。オリンピック・パラリンピック教育は、異文化交流等、健康教育の側面だけではないことから、施策の位置づけがわかりにくい等のご意見もあった。

そこで、「オリンピック・パラリンピック教育の推進」とした施策名を「児童・生徒の体力向上」と変更し、このプランではオリンピック・パラリンピック教育を健康教育の視点で位置づけ、充実を図ることを明確にした。

また、「オリンピック・パラリンピック教育の推進」の中に、学

校で行われていない競技や種目、ゴルフやラグビーなどをイメージできる言葉が入るとよいと思うという渡邊委員からのご意見については、東京都も2020年に向けて力を入れて本事業を進めているので、都の事業目的や内容等を十分精査し、子供たちにもできるだけ多くの競技や種目を知ってもらうことが望ましいと考えている。

7ページをごらんいただきたい。第Ⅲ章では、重点施策について施策ごとのシートになっている。例として、8ページの(1)「教員の授業力向上」をごらんいただきたい。

初めに、施策の説明、次に到達目標、そして到達手段。①、②の番号は、次の年度別計画の番号とリンクしている。年度別計画の表記は、検討、実施、継続を基本とし、これ以外の個別の表記も行っている。成果指標は、年度ごとに行う小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価をする際の指標とするものである。

今後のスケジュールについては、1月15日から2月14日までパブリックコメントを募集し、その後、いただいた意見を教育プラン検討会議で検討する。3月29日の教育委員会定例会で最終決定する予定としている。

説明は以上である。

山本教育長 事務局の説明が終わった。何かご質問、ご意見等があったら、お願いします。

岡村委員。

岡村委員 この間、新聞で読んだが、東京都全国調査で、中学校2年生男子が全国の中で、体力テスト、握力や50m走ですごく低水準である。それで、ほんとうに、今度、五輪都市にふさわしいように、みんな、なるべく運動してというのを東京都の教育委員会が出している。

それは、ほんとうにみんな子供たちがスポーツとかしなくなってしまう、学校での教育がすごく大切になっていると思う。オリンピック・パラリンピックを機会に、東京の子供たちの体力が上がるように、指定校になっているので大丈夫だと思うが、やはり体力が全国平均と比し非常に低過ぎる。中2男子が46位と女子が45位である。体格検査だと、身長、たしか全国1位だと思う。体重は3位

くらいだと。なぜこんなと思うが、やはり都市化されているのだと思うので、ほんとうに体力低いよと指摘されているので、一生懸命体力増強に、これがいい機会なので、体力増強に教育をよろしくお願いしたいと思っている。

山本教育長 指導室長。

小林指導室長 今、岡村委員がお話しされて、東京都の全国における体力の平均値は、ご指摘のとおりである。東京都教育委員会の話も聞いたが、東京都としても非常に大きな課題として捉えて、これから施策を打っていくというアナウンスがあった。小金井市教育委員会でも東京都と連携を図りつつ、オリンピック・パラリンピックの授業は、来年度、全校実施になるので、授業のあり方や、例えば、小学校で言えば、休み時間の運動などもかかわるので、総合的な体力向上の取り組みを進めてまいりたいと考えている。

以上である。

山本教育長 平成29年は、予定はどうなっているか。28年は全小中学校が推進校指定だけど、その次の年は。

小林指導室長 現在のところ、継続の予定だが、東京都も予算がいろいろかわってくることで、まだ明確なところは出ていない。

山本教育長 一応継続か。

小林指導室長 継続である。

山本教育長 そのほか、ご意見、ご質問等あるか。  
どうぞ、鮎川委員。

鮎川教育長 職務代理者 岡村先生がおっしゃった体力向上は、大人になってからの健康にもかかわってくるので、ぜひ頑張ってくださいと思う。

オリンピック・パラリンピック教育に関して、「児童・生徒の体力向上」の中に「健康教育」を加えていただいた。もう一つ、オリンピック・パラリンピック教育は、国際社会に生きる子供たちの

育成という、グローバル人材の育成、もしくは異文化の理解も大切な教育と思っている。

小金井市教育委員会の基本方針2の中にも、国際社会に生きる日本人を育成する教育と明言されているので、「明日の小金井教育プラン」の中でないのが少しさみしい気もした。

「明日の小金井教育プラン」はすっきりと見やすい形になっていて、成果指標もきちんと書かれているので、わかりやすくよいと思っている。成果指標というのは、数値でないと客観的な評価ができないこともあり、客観性を大切にされていることがよく理解できた。ただ、例えば、(7)「教育相談の充実」の成果指標に関して、教育相談の数になるのか、それとも、必要なことに対する対応率という割合になるのか、そのあたりはわからないが、せっかく学校で丁寧にご対応いただいていることなどが成果としてあらわれてこない、切ないという思いも感じている。

2点とも感想だが、「明日の小金井教育プラン」はとてもすばらしい形になっていると思う。

以上である。

山本教育長 感想ということでよろしいか。

鮎川教育長 感想である。  
職務代理者

山本教育長 よろしいか。どうぞ、指導室長。

小林指導室長 最初の異文化とグローバル人材の育成ということであるが、教育委員会としても非常に重要な観点だと考えている。先ほど、庶務課長から説明があった19ページの項目立てのタイトルが変わり、「体力向上」になった。項目立てのタイトルが変わることに伴い、異文化教育はオリンピック・パラリンピックに関連してたこともあり、端的に言えば、オリンピック・パラリンピック教育の全校実施を活用した体力向上という意味に変わった。

ところが、今の施策の中の3ページの(4)の①、②を含めて、国際社会に生きる小金井の子供たちやグローバル人材の育成及び日本や日本の文化、伝統、そして、それに伴って世界の伝統、文化

を学ぶ異文化の理解というのがここに書かれている。ここで大事なことは、日本の文化も確実に理解することである。ふるさと教育とは、郷土愛を育むために小金井市の歴史なども学んでいこうということで、今回の教育プランにそれも項目立てをしている。ついては、今、鮎川委員がおっしゃった異文化交流の部分、グローバル人材の育成が、このプランに確かに盛り込まれていない。今ご指摘をいただいたところについては、パブリックコメントと一緒に、指導室を中心に検討させていただきたいと考えているところである。

それから、教育相談のところについては、教育相談の対応率とか稼働数などのことも検討会議で話題になったが、実はそれが、またひとり歩きすると正確な理解に及ばないのではないかという議論もあり、また、そのことについては、学校も教育相談所と一緒に頑張っている様子がわかるように、また再検討していきたいと考えている。

山本教育長            そのほかないか。  
                              どうぞ、福元委員。

福元委員            このプランを見ていて、非常によくできているなど思う。特に「教員の授業力向上」というところは、他市に先駆けて全教員が取り組んでやっているという誇りに思える施策である。また、それ以外にも、「家庭学習の充実」とか「教育相談の充実」とか子供たちをしっかり支えている施策が取り上げられていて良い。子供一人一人を、しっかり理解することも、その前提にあろうかなと思う。このプランを見たときに、そのことがどの部分に当たるのかなと思いながら見ていた。もちろん教育目標等の中で、「個に応じて」という部分があるので、その部分は全部に手を打ってあるんだと思うが、この体系図の中から見つけにくかったので、その辺を少し聞きたいと思った。

山本教育長            指導室長。

小林指導室長        福元委員ご指摘のとおり、授業力向上というのは、前提として、教員の児童・生徒理解があるということが第一と考えている。この授業力向上の中では、今、小金井市で施策を打っている教員全員の

授業研究を中心に書いてあるが、全体的、トータル的に考えて非常に重要な項目であるので、この中にどのように組み込んでいけるのかどうか、ご意見をもとに、また再検討させていただきたいと考えている。

山本教育長       今、福元委員がおっしゃったのは、学習指導という視点からか、それとも生徒指導という視点からか、どちらか。

福元委員       学習指導という視点からも、また生徒指導という視点からも、全ての面でということである。

山本教育長       一人一人を理解するためにか。

福元委員       要するに、学校というところで先生たちが子供に関わる時に、いろんな条件も必要だが、しかし、その大前提は、目の前の子供を理解することだと思う。それはもちろん、この中の全体を通してやっていたらっしゃるということはわかるが、何か、そういう文言がどこかにあるかなと思いながら見ていたので、どういうふうに読み取ればいいのかと思い、質問した。

山本教育長       場合によっては、(5)の「人権教育の充実」の文言の中に入ることも可能である。一人一人を大切にすることである。

小林指導室長    今、教育長がおっしゃったように、今の福元委員のお話はもうそのとおりと考えているので、今、どこの項目に入れられるかどうか。これは指導室の範囲なので、また、私どもで検討させていただいて、内容に入れさせていただきたいと思う。

山本教育長       わかった。  
そのほか、いかがか。渡邊委員。

渡邊委員       先ほど、ちょっと言い忘れたが、体力の向上ということで、市内で物を投げる訓練をするゴムのバールンで向上したという事例があるが、なぜか東中はその情報が入ってなかったということで、それ、1つの例だと思うが、うまくいった事例を何で共有しないのか

など思った。物を投げるのは別に、生徒は一緒なので、それがうまくいけば、みんなレベルが上がればいいと思うので。ほかの部分でも、多分いろいろあると思う。その学校でうまくいった事例ってあると思うので、そういったものを吸い上げていただき、共通にレベルアップされるといいかなと思った。

もう一つが、21ページに、「学校地域連携の推進」ということで、近隣7大学ということ載っているが、以前から私が言ったような、専門学校もある。幾つかはわからないが。そのあたり、「地域協力団体との連携」の中に入るのか、それとも、また別な部分で含まれるのか。

山本教育長 指導室長。

小林指導室長 今、渡邊委員ご指摘のところの部分だが、大学については、「近隣7大学との連携」ということで、そこに含まれている。それから、例えば、専門学校や研究施設等については、基本的には地域協力団体というところに集約をさせていただいているが、もし説明が足りないようだったら、項目の下のところの注書きに入れさせていただくことも可能なので、そこも改めて検討させていただく。

渡邊委員 そうである。そのほうがわかりやすい。

小林指導室長 それから、東中の物投げは遠投ということか。

渡邊委員 ボール投げが、女子よりも男子のほうが非常に弱いらしい。それで、何かいい話はないかということで、ちょうど私いたので、ほかの連絡会に出たときに、ゴムのチューブみたいのを投げると、フォームができるらしい。それでうまく投げる力がついたということで話を聞いたので、その話をご紹介した。ただ、私が知っていてというよりも、皆さんが知っていて、全体に流したほうが浸透しやすいわけなので。それは一つの例だが、ほかにもたくさんうまくいった事例というのがあると思う。だから、それを吸収していただいて、みんなに還元したほうが、はるかにレベルが上がるんじゃないかと思って、お話しした。

山本教育長 指導室長。

小林指導室長 先ほど、東中の遠投の結果、投げる件については、市の体力向上委員会で情報共有しているところであるが、渡邊委員が今ご指摘のとおり、やはり市内の各学校の研究成果等については、1校だけにとどまらず、小金井市全体で共有するのがまず大事なことなので、例えば、研究奨励校の研究発表や、個々で行われる、指定校を受けての研究などは広く周知をしていくように、教育委員会としても努めてまいりたいと考えているし、学校も継続していきたいと思っている。

山本教育長 最初の近隣7大学の件で、私も今、渡邊委員の意見を聞いていて思ったのだが、たしか、いろんな会合で、市内の専門学校の事務長さんとか学長さんとかから挨拶を受けたときに、今後また小金井市内の小中学校との連携も検討していきましようということも話に上っているので、できれば「7大学等」と入れて、その下のほうの欄外の説明に専門学校の説明も入れたほうがいいと思う。

小林指導室長 今ご意見いただいたとおり、修正させていただく。

山本教育長 そのほか、あるか。よろしいか。  
それでは、文言の修正等については幾つかあるが、お諮りしたいと思う。  
協議第1号、「第2次 明日の小金井教育プラン（案）」については、ただいまの協議経過を踏まえて承認することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

山本教育長 御異議なしと認める。本件については原案のとおり承認することと決定した。  
次に、日程第4、報告事項を議題とする。順次、担当から説明を願う。  
初めに、東京学芸大学共同研究進捗状況についてをお願いする。  
指導室長。

小林指導室長 東京学芸大学共同研究について、2点ご報告させていただきます。

1点は現在の進捗状況である。東京学芸大学では小金井担当のワーキンググループが決まり、学校訪問、二小と南の学校訪問、それから、打ち合わせを終え、学生ボランティアの派遣が始まった。

さらに、第二小学校では、大学が作成した国語、算数の教材による学習及び調査が始まった。教材については、大学と指導室とで何度も協議を重ね、基礎学習が効果的なものにでき上がった。

なお、この教材については、二小以外の小学校で調査に協力する意向のある学校については追加配布をするということで学芸大学から聞いている。

また、小金井市立学校教員に対する全数調査については1月15日に回収され、年度末を目途にデータベース化されてフィードバックされて、こちらに参る。

2点目は、29年度以降の連携協力校についてである。連携協力校については大学と指導室で協議をし、一度確定させ、10月13日の教育委員会で報告をさせていただいたところである。しかし、12月8日の推進協議会において、29年度以降の学生ボランティアの確保の見込みが立たないため、計画を見直したいという要請があった。本市としては、その要請に従い、次年度、28年度に大学と協議をし直し、29年度以降の連携協力校を決定していきたいと思う。決定次第、教育委員会に報告をする。

以上である。

山本教育長 何かご質問等あるか。

それでは、その他、学校教育部から、ほかに報告事項があれば、願います。指導室長。

小林指導室長 前回、岡村委員からご質問いただいたことについて、指導室からご報告させていただきます。内容的には、平成27年度小金井市立小中学校の運動会等における組体操でのタワー、ピラミッドの取り組み状況及び安全対策についてである。

まず、27年度の小中学校の運動会で行われた組体操のタワー、ピラミッドについては、全ての小学校で3段から5段のタワーを行った。また、ピラミッドについては3段から6段のピラミッドを7校の小学校で行った。中学校では、タワー、ピラミッドは行われな

かった。

次に、組体操のタワー、ピラミッドを行う上での安全対策である。これについては、全小学校で児童の安全に十分配慮した指導が行われた。学校の指導では、タワー、ピラミッドの横に補助教員を配置したり、児童に対して段階的な指導に取り組んだりした。また、安全なタワーやピラミッドの組み方、崩れ方の指導の徹底、児童の負荷を少なくするための意図的な子供の組み合わせを行うなどの対策も行われた。

小金井市教育委員会からは、学校に対して事故の防止に向けての取り組みを指示するとともに、校長会での指導及び東京都教育庁指導部から出された、組体操等の演技種目における事故防止についての通知を学校に徹底周知し、事故防止についての注意喚起に努めてまいった。平成27年度の運動会等における組体操の取り組みで、骨折などの事故はなかった。

今後の組体操の取り組みについてだが、小学校では組体操を通じて児童が目標に向かって挑戦したり、互いに協力しながら集団で1つのことをなし遂げたりするなどの貴重な体験の機会になっている。また、保護者、地域の方からは、組体操の取り組みについて、毎年、多くの感動の声を聞くなど、会場全体で感動を共有する機会にもなっている。

運動会の演技種目については校長が決定するものだが、小金井市教育委員会としては、国や東京都等の動向を注視しつつ、適切なピラミッド、タワーの段数や、教員が不在のときは練習しないなどのルールづくりを行うなど、組体操などの演技種目における事故防止の徹底に取り組んでいきたいと考えている。

報告は以上である。

山本教育長

岡村委員、いかがか。

岡村委員

確かに達成感とかあるが、やはり教員の方がついていても危ないので、段数制限が一番いいかなと。下の子が力のすごく圧迫を受ける。それで、我慢を勉強し達成感を得るというのもいいのかもしれないが、やはり怪我が怖い、下のほうの子は上から落ちてくるのが怖いというのがある。

やはり危険であるので、下の子が、5段ぐらいでも、かなりの体

重がかかる。私たち医師会は、みんな、うーんという感じだった。

全国的にまた調べられると思うので、危ないことがあるんだよと校長先生が認識されるか、されないかで大分差があると思うので、よろしくお願いします。

医師会で、その話をしたときに、具体的に怪我で病院にかかっているわけではないが、私のところには怖かったとか、そういう話が患者さんから聞こえてくる。また、ほかに事故がないと言われて、「小金井の教育」を見てみたら、運動会以外に結構事故があり、それはどういうものかを医師会から聞きなさいと言われて、私は全国の日本スポーツ振興センター賠償金の委員にもなったことがあり、すごい事故がいっぱいあったが、そこで発表しているのが、一番多いのが柔道とかあるが、最近のを見てないので、それを今度、医師会に発表しようと思う。

結構事故があり、体育がどれぐらいかなとか考えてみたので、医師会では、組体操よりも剣道とか柔道とか、柔道、一番事故が多い。そういうものでけがが増えてないかとの問い合わせがあった。

私たち皮膚科医はすごくけがとか、患者さん同士でうつるカビとかをすごく心配していて、今度、どういう事故や怪我が全国的にあるかを調べて、そしてご報告して、やはりそれを校長先生とか保健の先生が気をつけていただけたらいいと思うので、また調べてみるので、よろしくお願いします。医師会も調べてくれと言われているので、学校医の先生たちにもご報告したいと思う。よろしくお願いします。

山本教育長 市内の事故報告のデータは後で提供できるか。

小林指導室長 できる。

山本教育長 年度の事故報告のデータ。

岡村委員 軽いけがでしょうか。結構、報告数が多い。

小林指導室長 基本的に、指導室に報告されたものしかないが、よろしいか。

岡村委員 はい。

小林指導室長      じゃ、それはまとめて、また報告させていただく。

岡村委員            ありがとう。

山本教育長         あと、先ほど、指導室長が「ルールづくり」という言葉を出したが、都教委が先にやるのか、それとも市独自でやるのか。指導室長。

小林指導室長      都教委がどういう動きかを注視するという話をさせていただいた。東京都からも連絡等あれば、そちらにまた反映する必要もあると思うが、今の話は小金井市として取り組んでいくということである。ただ、今のところ、5段にしろとか、そういうことは考えてないで、校長のほうとしっかり意見徴収して、教育委員会としても安全策を協議しつつ、共通理解としてのルールづくりをしていきたいと考えているところである。

岡村委員            大阪だと5と3、タワーは3段で組体操は5段と、大阪市、決めた。

小林指導室長      そこも参考にさせていただきたいと考えている。

山本教育長         それでは、生涯学習部から報告事項があれば、願います。

西田生涯  
学習部長            生涯学習課と図書館から願います。

山本教育長         生涯学習課長。

石原生涯            では、まず、生涯学習課から3点ご報告をさせていただく。

学習課長            1点目は、資料として添付させていただいた、文化財センターの企画展についてである。11月3日から12月20日までの間、初めての試みとして、「戦時下の生活」ということで、戦後70周年の節目ということで、各近隣自治体なども同じようなテーマで取り組まれていた。今まで小金井市で特攻隊員で戦死した方がいらっしやったという情報はなかったが、この企画展を企画する中で、文化

財センターの学芸員に、小金井市内でも特攻隊員で亡くなった方がおられたという情報が寄せられて、遺族の方にご相談したところ、快く遺品の提供などをしていただいた。亡くなった鈴木辰蔵さんは、当時、二十歳前後ということで、きのうの成人式の若者たちと同じような年代で亡くなられたということも鑑みると、平和な今と70年前の対比が非常に浮き彫りとなり、意義深いものがあるかと思う。

来館者は、新聞に取り上げられたこともあり、800名ということで、例年の企画展より多くの方にご参加いただいた。

続いて、口頭でのご報告となり恐縮であるが、昨日の成人の日の記念行事であるが、合計で667名の参加者があった。去年は735名だったので、対象の成人の数は小金井市は微増傾向にあるが、市内の参加者が若干参加がふるわなかったということで、人数の減少になったと思っている。

ただ、市民交流センターでの定員ぎりぎりの数なので、今後、成人の数なども注視しながら、今後の成人の日の記念行事のあり方も考えていく必要があると感じている。

3点目も口頭の報告で恐縮だが、第3次小金井市生涯学習推進計画のパブリックコメントが先週の1月8日で締め切りとなった。パブリックコメント案を検討するのは、あしたの社会教育委員の会議があるので、明日の会議の中で、どの意見を取り入れるというような議論をするところであるが、本日、寄せられた意見の概略についてご報告させていただく。

意見をご提出いただいたのは、団体が1つ、個人が2名である。団体については、図書館協議会から意見をいただいている。意見は、図書館協議会と個人1名については、主に図書館の充実について、生涯学習推進計画について書き込みを厚くするべきというのが主な意見である。それから、もう1名の個人の方については、生涯学習について、企業との連携ということについても一定書き込みはあるのだが、重点プロジェクトの中であまり深い書き込みがされていないので、企業との連携については入れていくことが必要ではないかといったご意見である。

生涯学習課からの報告は以上である。

山本教育長

それでは、図書館長。

上石図書館長      では、口頭でご報告をさせていただく。第3次小金井市子ども読書活動推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果についてである。実施期間は、平成27年11月20日から12月20日までであった。3人の方から4件のご意見をいただいている。いただいたご意見は、計画の内容に関するものが2件、文言の修正に関するものが2件となっている。今後、ご意見に対して検討して、小金井図書館協議会にお諮りしていく予定となっている。

以上、報告とさせていただく。

山本教育長      生涯学習部から4点報告があったが、ご質問、ご意見等があったら何でも結構である。

私から1点、文化財センターの企画展、私も行かせていただき、大変身近なところでこういう話があったんだということで感銘を受け、また、考えるところが深かったんだが、そのとき、係の担当者、小学生や中学生向けにもっとわかりやすいパンフレットなどを配って、子供たちにも見せたらどうかという話をさせてもらった。そのときはまだやってないということだったので、ぜひこういう貴重な展示会については、学校にも知らせていただきたいと思ったので、よろしく願います。

ほかにないか。

それでは、今後の日程について報告願う。

中島庶務係長      それでは、教育委員会の今後の日程について報告する。

東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会第2回理事研修会が1月15日、金曜日、東京自治会館で行われる。鮎川委員のご出席をお願いします。

続いて、第4回総合教育会議は、2月9日、火曜日、午後1時から801会議室で行われる。全委員のご出席をお願いします。

同日午後1時30分から、引き続き、平成28年第2回教育委員会定例会が行われる。全委員のご出席をお願いします。

続いて、中学校卒業式が3月18日、金曜日、各中学校にてとり行われる。全委員のご出席をよろしく願います。

続いて、小学校卒業式が3月25日、金曜日、各小学校にてとり行われる。こちらも全委員のご出席をお願いします。こちらの出席の学校については、また、委員の皆様と調整させていただくので、よ

ろしく願います。

続いて、平成28年第3回教育委員会定例会が3月29日、火曜日、午後1時30分より801会議室で行われる。全委員のご出席を願います。

向こう3カ月の日程は以上である。よろしく願います。

山本教育長

よろしいか。

以上で報告事項を終了する。

これから日程第5を議題とするところだが、本件は人事に関する議案である。委員長は、本件は小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

山本教育長

全員異議なしと認め、秘密会を開会する。

準備のため、休憩する。

休憩 午後2時41分

再開 午後2時42分

山本教育長

再開する。

以上で本日の日程は全て終了した。これをもって平成28年第1回教育委員会定例会を閉会する。

お疲れさまであった。

閉会 午後2時42分